

公益社団法人砥粒加工学会 関西地区部会報告

平成30年度 産学連携フォーラム ～産業界のニーズから探る将来技術～

1. はじめに

平成30年11月9日(金)に、平成30年度関西地区部会講演会として、産業界と大学等の研究機関の技術者・研究者の情報共有化・交流の場として、産学連携フォーラムを開催しました。テーマを「産業界のニーズから探る将来技術」として、医療、電子部品、航空機、半導体、自動車などの主要産業の技術動向とものづくりとの関連、および技術マネジメントに関して各界で活躍中の講師の皆様からお話していただき、産学の技術者・研究者で意見交換し交流を深める場としました。参加者は50名でした。以下、概要を報告いたします。

2. 講演会

最初に、兵庫県立大学の奥田孝一関西地区部会長からご挨拶をいただき、午前中の講演として、まず、吉川典子氏(医工連携推進機構)から「医療産業の技術動向とものづくり」と題して講演していただき、医工連携には加工側から遠慮なく飛び込む姿勢が重要とのアドバイスをいただきました。続いて川勝孝治氏(株)村田製作所)から「電子部品・素材産業の技術動向とものづくり」について講演していただき、村田製作所の強さの一端を感じ取ることができました。午後の部では、まず石田修一氏(立命館大学)から「産学連携のための技術マネジメント」と題して、技術マネジメントとしてのフロントエンドの重要性などの示唆に富むお話をしていただきました。次に平博仁氏(元川崎重工業(株))から「航空機産業の技術動向とものづくり」について、活性化しつつある日本の航空機産業の強みや弱みについて講演していただきました。さらに中岡弘光氏(ローム(株))から「半導体産業の技術動向とものづくり」と題して半導体産業の技術動向やロームの得意とする半導体分野について講演していただきました。最後に南部俊和氏(日産自動車(株))から「自動車産業の技術動向とものづくり」と題して、電気自動車等の次世代自動車に関わるものづくり技術の重要性を講演していただきました。

3. 総合討論(講演者を囲んでディスカッション)

講演会の後、4名の講師の方を囲んで参加者とのディスカッションを行いました。日本の産学連携の弱い点や海外との比較から、今後どのような形で協力や連携を深めて行くべきかなど、活発な討論が行われました。残念ながら、討論時間が30分程度しか設けられなかったため、引き続き行った技術交流会の場でさらに活発な個別討論が行われました。

4. おわりに

今回は初めて、産学連携フォーラムという形で主要な産業界の技術者・研究者の皆様から講演していただきました。参加していただいた加工技術関係者がニーズを探る良い機会になれば幸いです。貴重なご講演やディスカッションをしていた

いただきました講師の皆様には感謝申し上げます。関西地区部会では、今後も皆様のお役に立てるような技術交流の機会を企画して行きたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

(文責:太田稔)



図1 吉川典子氏



図2 川勝孝治氏



図3 石田修一氏



図4 平博仁氏



図5 中岡弘光氏



図6 南部俊和氏



図7 講演会の様子



図8 講師と総合討論の様子